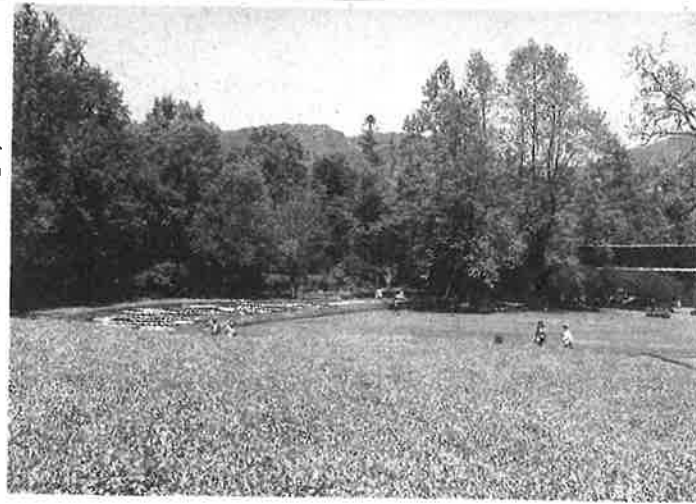


1/20  
**フラワーフェスタ2018 in のべおか**

# 22日 表彰式、メインイベント

5月3日まで  
**延岡植物園**



5月3日まで開かれている「フラワーフェスタ2018 in のべおか」。22日はメインイベントがある。

春の訪れを告げる花の祭典「フラワーフェスタ2018 in のべおか」は5月3日まで、延岡市天下町の延岡植物園で開かれている。22日には表彰式やステージイベントなど、メインとなる催しが予定されている。雨天中止。無料。

植物園内は期間中、シレネやネモフィラ、ペチュニアなどの花々が咲くほか、ハンギングバスケット展やコンテナガーデン展、七つの小庭のガーデニング展など各種コンクールの出展作品などが展示される。

メインイベントは、午前9時45分から、無料配布する花苗の引き換え券を配布（先着500人、花苗の配布は正午から）。午前10時から、開会式や

表彰式、ステージイベント（エイサー、フラダンス、チアリーディングな

ど）がある。

このほか、同10時からハーブティーとクッキーのお接待や山菜天ぷらの振る舞い、子ども寄せ植え教室や輪投げ、花苗の販売などもある。みどりの相談所では絵画展（22～27日）、園芸教室展（30

日～5月3日）も行われる。

また、最終日の5月3日午前11時からは、延岡雲海太鼓、龍潮太鼓鼓衆、すみれ太鼓（あゆっこ隊）、和太鼓道場巴藝による演舞なども予定されている。

植物園の開園時間は午前8時30分から午後5時15分。問い合わせは実行委員会事務局の同市都市計画課（☎延岡22・7046）。

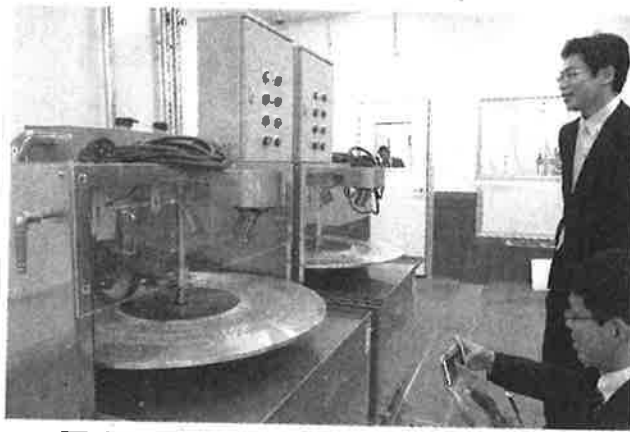
# 「北浦ベース」完成祝う

## 養殖魚加工処理 日本トップクラス

25日稼働



テープカットする小川社長（右から3番目）



国内初導入というブリ・カンパチ用の「腹骨取り機」に関心を示す出席者

鮮魚加工・販売会社「新海屋（小川裕介社長）」の新工場「北浦ベース」が延岡市北浦町古江に完

成し、19日、現地で竣工した。カンパチ・ブリの加工場としては日本最大級。式典の出席者は施設内を見学し、地元水産業を盛り上げる存在に期待を寄せた。稼働は25日から。それに合わせて本日も粟野名町から北浦ベースに移す。

取引先や建築業者ら関係者約20人が出席。神事後、小川社長や北浦漁業協同組合の宇田定信代表理事組合長ら6人が玄関前でテープカット。餅まきもあり、駆け付けた多くの地域の人を前に小川社長は「北浦の発展に貢献できるような立派な仕事をしたい」とあいさつした。

同社は平成23年3月の設立。ブリを中心にカンパチやマダイ、シマアジなど北浦地区の養殖魚を原料に「フィレ」「ロイン」に加工。国内の量販店や

外食産業、販売会社と取引している。

北浦ベースは粟野名町の「ベイファクトリー」に続く2カ所目の工場。敷地面積約3300平方

メートル、建物面積約1400平方メートルの鉄骨平屋建て。国内初導入というブリ・カンパチ用の「腹骨取り機」など加工から包装までの全工程で最新設備をそろえ、加工処理能力は「日本でもトップクラス」（小川社長）。

にも対応し、来年からは新たに海外輸出事業にも取り組む考え。平成28年度の売上高は9億6000万円、今年度は13億円を目指す。

施設内には見学通路も設けられており、小学校などの社会見学も受け入れるという。宇田組合長は「素晴らしい拠点ができた。子どもたちが魚を学ぶ場にもなる」と期待。小川社長は「一日でも早くこの工場を軌道に乗せ、地元の水産業の発展に貢献したい。また、

子どもたちが地元産業を学び、郷土に誇りを持つ機会にもしたい」と力を込めた。問い合わせは北

浦ベース（100）。